令和二年十月一日　信者心の道勉強会

神　　示

使者供丸斎の歩みし「人生」　その心は今日も生きている
「教え」の基にある心の姿こそ
代神が求めた「道の真理」

感謝　実行　反省　報恩
四つの心を丸くつないで　日々「生きる」ところに
人間は皆　「希望の光」に守られる
代神の心が　直使の心の土台を支え
今日人類は「教え」に救われている
信者は　代神が人類に求める心の姿　「和魂」を知る時
「教え」の基たる「道の真理」こそ　和の心
三筋の道に重なる「調和」にある

信者に申す
「教え」を家族で学び
「教え」に生きる家庭を　家族でつくる努力を重ねる
家族の心は　調和を深め　実体は大きく引き上げられる
神の手の中　運命に導かれて
発展する家庭の姿が　ここにある
使者供丸斎の心を求めて　「教え」に生きるべし
「心」は守られ　救われてゆく